

横断幕は愛媛県に引継ぎ 県内行進総参加者は514人（速報値）

初参加者も青年から新婦人まで、これもウクライナと山口逸郎効果！！

JR観音寺駅に、高松市からの参加者や地元の参加者が集まります。森川理事は昨日の三豊市からの行進も多かったと報告し、プーチン大統領の侵略で原発への攻撃や核使用の脅しを批判、これに対して国民の平和への願いが一気に上がっていると強調。山口逸郎さんは、新婦人参加者を前に、「翼は心につけて」制作で新婦人に大変お世話になったと切り出し、ドキュメント「歩く」は東京から広島への通し行進の折のものと説明。今回も各地の参加者の支えでここまで来れたと強調し挨拶としました。

観音寺行進の特徴は、自宅の前から行進に参加したり、お茶の「お接待」をする方が多いということ。今回も豊浜八幡神社で頂きました。終結集会には、香川県の行進は時間通りに到着しました。JR箕浦駅からも新婦人が参加し、新たに2人が初行進と明かしてくれました。

終結集会では、岩部乃之香川県原水協筆頭代表が、香川県の行進についての概括として、気持ち一つに行進をおこなえたと強調。山口逸郎さんは、香川県内を歩き通せたお礼と、愛媛県の参加者に協力を依頼し、「お遍路行進」を貫くと決意し挨拶としました。

今井正夫平和行進愛媛実行委員長は、行進を始めるにあたって、全自治体に平和行政への要請をおこなうが、毎年の要請で自治体の姿勢が変わっていると強調。その例として、愛媛県知事が職員への署名を承諾し、1055筆を届けてくれたとして、2022年の行進への決意を表明。なお香川県原爆被害者の大村観音寺支部長を紹介しましたが、サプライズでした。

<山口逸郎さんが残したもの>

「90歳になる山口さんが歩いているのに」は、心情に訴え、大きな共感を得ました。これで参加者が、「歩く」行動にかられたのではないのでしょうか。山口さんの行進は、足だけでなく声を出すことで、全身で「平和」を訴えていることです。香川県の反応は他県と比べて「いい」と言いますが、それは山口さんの「本気」が共感を得たからではないのでしょうか。この教訓を学ぶことが大切だと思います。西本敦さんの「歩く」事と「平和」が一体となった行動を、今流に具体化したことを学びたいと思います。何より無事を祈ります。ありがとうございました。



余木崎道の駅での、愛媛・香川の引継ぎ式、総勢60人が参加しました。